

RM&FP NEWS LETTER



リスクマネジメント&ファイナンシャルプランニング

2011年9月 第78号 By FP Compass

◇新しい相談コーナーがオープン



10月1日(土)に現在の事務所の隣に新しい相談コーナーをオープンいたします。

そこで、今回は新店舗オープン記念イベントを開催いたします。

当日は、新鮮な地元産の野菜や果物などの激安直売会や山形名物玉こんにゃくと綿あめの無料提供など楽しいイベントや、運転操作検査機器「アクセスチェッカー」による運転適性検査等、様々な企画をご用意してお待ちしております。

また、日頃の感謝の気持ちを込めまして、簡単なアンケートにお答えいただくだけで、先着100名様の方に、特製タオルのセットを進呈いたします。

開催日時

平成23年10月1日(土)

午前10時30分～午後5時まで

◇地震保険金7,000万円超す

金額をお支払いしました

東日本大震災による保険金の支払いは、全国で1兆1千億円を超えました。

当社におきましても、ご契約者様がほとんど山形県内にもかかわらず、8月25日現在、91件で約7,000万円を超える保険金を支払いさせていただきました。

皆様ご存じの通り、住宅の地震保険は国と損害保険会社との共同保険となり、補償の枠も5.5兆円と大きな枠がございます。

今回の巨大地震と津波により大きな被害を被っている割には、地震保険金の支払金額が小さいと感じます。

それは、2つの理由が考えられます。

一つ目の理由は、やはり地震保険の普及率が低かったことです。

今回の震災発生後は宮城、岩手、福島を中心として、加入率は怒濤のように高まってきましたが、山形では、まだ充分とは言えない状況です。

損害保険を取り扱うところは様々なところがございますが、すべての代理店が真剣に地震保険の紹介を行っているかは疑問に感じますし、中には全く紹介しないか、不要と説明している代理店もいると聞いています。

二つ目の理由は、ご契約者様と保険会社との間に地震保険金支払い方法の認識の溝を埋めるべく、私たち代理店が説明等、カバーしていないことが挙げられます。

3月11日以降に全ての地震保険契約者様に電話にて連絡をさせていただきました。

その時は、ご契約者様は一様に何の被害も無かったと返事をされました。

一般の方は地震保険金の支払い方法を知らないのは当然のことであり、それはそれで、なんの過失もございません。

しかし、地震保険金の支払い方法を知らないご契約者様はともかく、保険を取り扱っている者が知らないのでは、言語道断です。

地震保険金の支払いは、当社においても初めての経験となりました。

そこで、保険会社や損害保険代理業協会による地震保険の支払い方法の実際を学ぶセミナーにも積極的に参加をし、社内においても勉強会を実施しました。

また、地震保険金支払いを何度か経験している、宮城県大崎市の代理店(リスクマネジメントの勉強仲間)にお見舞いと支援物資を運びながら、地震保険金の支払いの実際を学んできました。

そこで、当社としては、地震保険契約者様全件、現地に赴き物件の目視確認を営業スタッフ全員で行いました。

取引をされている代理店の考え方、知識、ご契約者様との認識の溝を埋めるべく行動の差で、保険金受け取りの機会を逃すことにもなりますので、代理店選びは重要です。

◇放射線でガンになるメカニズム

ガン発症には、私たちの体内で生成される活性酸素の働きが大きく関与しています。

そのメカニズムを説明したいと思います。

放射線にまず関係なく、私たち体内で常に起こっていることから説明します。

体内で酸素がエネルギー産生などで動員されると、スーパーオキシドが発生します。

スーパーオキシドは酸素に電子が1個だけ余計に付いたものです。

このスーパーオキシドは体内の酵素の働きによって、過酸化水素を経て、最終的には水と酸素になっていきます。

しかし、過酸化水素から生成されるヒドロキシラジカル(活性酸素)は酸化力が非常に強く、細胞にダメージを与えます。

ヒドロキシラジカルは、遺伝子(DNA)を傷つけ、タンパク質や脂質を酸化させることによって様々な病気の原因となっていきます。

一方で、人の体はうまくできていて、ヒドロキシラジカルを消していく機能も携えています。

抗酸化酵素などが、活性酸素の消去という素晴らしい役割を担っており、このおかげで私たちの体はバランスがとれるようになっています。

さて、放射線で被爆するとガンの発症リスクが高くなることは広く知られている事実です。

放射線は、体内の水と反応することによってヒドロキシラジカルを作り出します。

ヒドロキシラジカルは非常に反応性に富む活性酸素であるため、遺伝子(DNA)と反応して遺伝子異変を引き起こします。

この遺伝子異変が、正常な細胞をガン化させるきっかけとなるのです。

内部被曝が外部被曝よりも恐ろしいと言われるのは、骨髄や筋肉に運ばれた放射性物質がその周囲の正常細胞を長い期間(放射性物質の種類によっては一生の間)、ずっと放射線を出し続けるためです。

ガンを始めとして、様々な慢性疾患を引き起こす原因にもなります。

ここで、下記に主な放射性物質の半減期の図を表します。

半減期とは、放射性物質が放射線を出す能力(放射能)が元の半分になるまでの期間を意味します。放射性物質の原子は不安定な性質を持ち、アルファ線やベータ線、ガンマ線などの放射線を出しながら、別の安定性の高い原子へ変化していきます。

この過程で放出されるのが放射線で、時間の経過とともに放射能が弱まり、半減期で元の半分になります。

今回の福島原発では「ヨウ素131」と「セシウム137」が問題となっております。



◇住宅ローンの繰り上げ返済

住宅ローンの負担を軽くする方法として、借り換えと繰り上げ返済があります。

今回は繰り上げ返済について説明します。

繰り上げ返済方法も、返済期間は変えないで返済金額を減額する方法と、返済期間を短縮する方法があります。

負担利息軽減効果は後者の返済期間短縮方法が大きくなります。

また、繰り上げ返済のタイミングによっても負担利息軽減効果は違ってきます。

繰り上げ返済の金額は、元金に対して充当されるため、特に返済当初は返済される元金が少ないために、返済期間短縮効果は大きくなります。

つまり、出来るだけ早い時期に繰り上げ返済をするのがコツといえます。

繰り上げ返済時に手数料がかかる場合はある程度まとまった金額で繰り上げ返済をしないと、コストに見合った効果は得られなくなります。

しかし、手数料がかからない場合は早いうちからまめに繰り上げ返済をする方が効果が高まります。

住宅ローン控除を受けられている方は、年末に繰り上げ返済をするより、年初に繰り上げ返済する方がお得となります。

繰り上げ返済に熱心となり、貯金を全部繰り上げ返済に回す人もいますが、それでは、予想外の事が起きても対応が出来ません。

緊急必要資金として、月収の3~4ヶ月分程度用意しておく必要があります。

◇被災者の二重ローン回避

東日本大震災の被災者の住宅ローンを軽減する、いわゆる二重ローン対策が8月22日から始まりました。

大震災で返せなくなった住宅ローン債務を民間のルールで免除するのが柱で、法的な自己破産と違い、信用に傷がつかずに済むというのが特徴です。

「個人版私的整理ガイドライン運営委員会」というところで相談を受け付けます。

ガイドラインでは、返せない債務を抱えた被災者が申し出た債務整理にお金を貸している銀行などが同意すれば債務免除が実現します。

裁判所の判断がいらぬ代わりに、第三者機関である運営委員会が債務免除にお墨付きを与えます。

このガイドラインの目的は、基本的に債務を返済できず、自己破産や個人版民事再生を申し立てしなければならない状況の人が、法的な破綻に陥らずに生活を債権出来るよう支援することにあります。

この仕組みは、単なる債務免除ではなく、信用履歴に残さないようにしながら、マイナスをゼロに戻す仕組みとなっています。

あくまでも、免除される債務は持っている資産を売ったり換金したりしても返しきれない債務となります。

ガイドラインでは、資産を返済に充てるほか、将来の収入から返済をする計画も債権者が同意すれば可能ですが、基本は、返せる部分の債務は返し、返せない部分は免除する仕組みとなります。

20万円を超える銀行預金や生命保険の解約返戻金、株・投信といった金融資産、売却可能な不動産などは手放すこととなります。

残せるのは、自己破産したときに確保できる99万円以下の現金や生活に必要な家財道具などの他、被災者が受け取れる義援金や見舞金、生活再建支援金などがあります。

子供の教育資金などまとまった資金がある方などは、利用する際慎重に検討することが必要です。

二重ローン回避といっても、保有する資産は洗い出され、ほとんど手放しするにもかかわらず厳しい返済は残ります。

そうならないためにも、地震保険の手配(保険金額を目一杯にした)を、建物のみならず、家財も含めて早急に検討する事が必要です。

発行者 有限会社 FPコンパス

武田幸夫 藤井義容 大木隼人 西塚英樹 木村正照 阿部 信 工藤 進 大西忠兵衛
阿部 尊 高橋治子 佐藤和一 深瀬幸子 多田恵子 土赤 妙 鈴木由美子

〒994-0063 山形県天童市東長岡2-1-34

TEL 023-658-3512 FAX 023-658-3513

E-mail postmaster@fpcompass.co.jp

おかげ様でFP コンパス創業20周年

保険相談コーナー

10月1日(土)

AM10:30~PM5:00

オープンイベント

ご家族・ご友人、もちろんお一人様でもお気軽にお越しください。^^

イベント1

会場のアンケートにおこたえ頂いた方へ

先着100様に
粗品進呈!!

イベント2

地域の穫れたて
農産物を販売します!

新鮮な野菜・果物の
直売会

イベント3

本チラシをご持参で来場されて方に
プレゼントいたします。

玉こんにゃく

イベント4

アクセスチェッカーで
運転特性を診断します。

お祝い&わた菓子
無料プレゼント!

チラシご持参で

運転操作検査機器による
運転適正検査体験

- 自動車保険
 火災・地震保険
 医療・ケガの保険
 旅行・レジャーの保険
 生命保険
 こども・学生の保険
 老後に備える保険
 積立型の保険

FPコンパスの姿勢

FPコンパスは地域に密着し、お客様が保険商品と保険会社を選ぶお手伝いをする損害保険、生命保険の乗合代理店です。

お客様のリスクマネジメントやファイナンシャルプランの構築を行い、複数の保険会社(14社)より一人一人に合ったベストプランをご提案いたします。

お客様を大切に、末永いお付き合いをさせていただきます。

取扱保険会社

- 【損害保険】** あいおいニッセイ同和損害保険・三井住友海上火災保険・日本興亜損害保険・日立キャピタル損害保険・セコム損害保険
【生命保険】 ソニー生命保険・メットライフアリコ・日本生命保険・アクサ生命保険・あいおい生命保険・日本興亜生命保険・オリックス生命保険・東京海上日動あんしん生命保険・三井住友海上きらめき生命保険

FPコンパス 保険相談コーナー



生命保険・損害保険代理店

FP Compass 有限会社 FPコンパス

TEL.023-658-3512 FAX.023-658-3513

〒994-0063 山形県天童市東長岡二丁目1-34 E-mail postmaster@fpcompass.co.jp